

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 三条台区

日 時 平成 21 年 8 月 17 日(月) 19:00 ~ 20:52

場 所 三条台公民館

出席者 (市 民) 44 人
(執行部) 15 人

井上市長、平島副市長、木村総務部長、三笠協働のまち推進担当部長、松田市民生活部長、松永健康福祉部長、新納建設経済部長、宮原上下水道部長併会計管理者、山田教育部長、松島議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、齋藤広聴広報係長、高原主任主査、諫山協働のまち推進課長、藤田地域コミュニティ推進係長

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ(経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区自治会長あいさつ(区自治会長) 19:02 ~
- 3 市長あいさつ(市長) 19:03 ~
- 4 市職員自己紹介(経営企画課長) 19:07 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:10 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換(経営企画課長) 19:24 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ(副市長) 20:51 ~ 20:52

	発言の主旨	市長
意見 1	<p>三条台区は市内 44 行政区で 3 番目に高齢化率が高い。現在、まほろば号のバス停が三条台団地の真ん中辺にあるが、登りつめた所にもバス停がもう 1 箇所欲しい。(朝の通勤時間帯は除く)</p>	<p>(市長)</p> <p>三条台区は高齢化率が 35.3%と高い状況にあります。高齢者の皆様の外出支援を目的に、コミュニティバスまほろば号を運行していますので、可能な限り要望に応えるべく努力をしていきたいと思えます。ただ、今すぐに行うということは難しい状況です。バス路線の許可申請等手続き関係がありますので、現地を見たとえ、どこが望ましいのかを再度検証し、地元の皆様の意見を聞きながら、検討していきたいと思えます。</p>
	<p>災害対応(住民の生命・財産の保全) (背景) 全国的な災害(特に土石流)の多発 「土砂災害防止法」の制定により、福岡県の調査によって三条台は全域「土砂災害警戒区域」相当になっている。現在は住民の意見により指定は先延ばしになっている。しかしながら、市の積極的支援を受けて、われわれも前向きに捉えていくべきではないか。 (対応) 防災放送の改善 全戸、放送が聴き取れるようにする。ボリュームを上げると声が割れるし、小さくすると聞こえない。 過去何年か前に土石流を起こした箇所(公民館横の小山)の近くは、上記調査によっても「特別警戒区域」別名レッドゾーンとされている。つきましては (ア)擁壁の改修・強化をお願いしたい。 (イ)立木の管理(伸びすぎた木は土砂の保持に支障をきたさない程度で適当に切る)</p>	<p>(市長)</p> <p>住民の皆さんの生命・財産を守ることは行政の責務です。土砂災害防止法については、県の権限ですが、平成20年度に住民の皆さんや事業所へ説明会を開催し、現在、意見の集約中というのが現況です。今後、県知事の中でこの区域指定は行いますが、市の意見を聴くということになっていきますので、十二分に事務手続きを進めていきたいと思えます。市としても、ハード対策としての推進、例えば、砂防ダムや治山ダム、擁壁の強化など、私有地・公有地の区別なく、必要性等について具体的に考えていくことも一つの方策の中にあるのではないかと考えています。いずれにしても、市民の皆様、そこにお住まいの皆様が不安を抱かないような努力をしていきます。</p>

	<p>土石に立木が混ざると災害が増加する。特に、建物の被害が多発する。この問題は個人所有地であれ、法人所有地であれ関係なく、市があいだに入って調整し、解決する必要があると考えます。</p>	
	<p>8組の所の造成地は土砂崩れの心配がある。許可が下りているのだから心配である。</p>	<p>(市長) 大原台の造成地の問題についても、県の許可の部分もありますが、造成の許可をする場合であっても、安全・安心の部分の手立て、対策を講じることになっていきますので、原課の中で、その辺の道路のチェック、検証も含めて行っていきたいと思います。</p>
	<p>大原団地からの来る道で、自家用車が一旦停止しない。通学路でもあるので一旦停止を守らせてほしい。</p>	<p>(市長) 現場をきちっと見て、どういう形が一番良いのか、安全標識等を設置することによってクリアーするのかどうか等を含めて考えていきたいと思います。</p> <p>(建設経済部長) 市は、筑紫野警察署と十分に連携をとるようになっていきます。毎年、各自治会長さんから交通安全に対する要望書を行政区の方でまとめ、市へ提出いただいています。市では、責任をもって、筑紫野警察署へ届けをし、できるだけ優先順位を上を上げていただくような折衝を行っています。</p>
	<p>特定検診の項目の中に心電図ぐらいは入れてほしい。また、前立腺ガンの検査は血液検査でできるので加えてほしい。</p>	<p>(市長) 本市が行っている特定検診は、国民健康保険の被保険者に対してで、残りは職域や社会保険の中で実施されています。特定検診の基本的な、一般的な検診の中身については、法的に示され</p>

		<p>ています。項目を増やす場合にあっては、検証も必要だと思いますので、意見としてお伺いしておきたいと思います。</p>
意見 2	<p>大きな沢に 2 つの治山ダムがあるが、5 年前の大水害のときに、上のダムに土砂崩れと岩石の流失があって、団地の方に迫ってきて危険。新たに砂防ダムを設置してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>山を鎮めるためには、治山ダムや砂防ダム等どれが一番有効であるか、専門的な技術者の意見を聞きながら、市としては国県に強力に要望していきたいと思います。</p>
	<p>避難指示(勧告、警告)について、時期を逸しないように出してほしい。以前、市の担当者に「この地域は、どのくらいの連続降雨量、時間降雨量で避難指示するのか」と聞いたら分からないと言われた。有能な責任者を置き、センサーや監視カメラなども設置してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>情報を的確に市民の皆様方に伝え、そして、その状況によっては避難勧告(指示)を行うことにしています。大げさ過ぎるとお叱りを受けることもあるかもしれませんが、その時のタイプ・状況によって首長が判断します。それには、的確な情報が必要です。連歌屋・国分地域には監視カメラが、御笠川には測定器が設置されています。科学的なデータによって判断するとともに、人間の経験則も噛み合わせた中で私どもが総合判断する形になります。</p> <p>もう一つ、災害の場合には、自己管理が大切です。あらかじめ避難場所は示していますので、皆様方の日ごろの訓練(練習)等が必要だと思います。</p> <p>また、平成 15 年 7 月の災害の経験則から、市民の皆様には災害等情報を無線で知らせるために、コミュニティ無線を設置しています。しかし、地域で聞こえなかった人もありますので、聞こえた人が聞こえなかった人に情報を伝えるということが、「地域コミュニティづくり」や「自治会の地域力を高める」</p>

		<p>ことにつながると思います。</p>
<p>意見 3</p>	<p>自治会制度が導入されるときに住民への説明会もなかった。もっと住民の意見を聞くべき。</p>	<p>(市長) [左記意見のうち、いくつか大事な部分について回答]</p>
	<p>隣組長が順番で回ってくるが、高齢、病弱などに関係なく回ってくる。太宰府は優しさが無い。</p>	<p>地域で助け合うというのは当たり前のことです。地域力、自治会制度をより高めることによって、互助精神や助け合いというものが、その中から培われていくものだと思っています。昔は、地域の支えによって育てられてきましたが、現在は、そういう部分が忘れられてきていますので、それを復活しましょうよ、というものです。お互い助け合うというのが大事だと思っています。そういう、一番かゆいところに手が届くのが地域ですので、地域を単位として自治会制度を発足させようというものです。</p>
	<p>防犯組織は 44 行政区中何箇所あるのか。</p>	<p>今までは、市の業務を区長さんをお願いしていましたが、だんだん今の時代に合わなくなってきました。区長制度の中では、年間5千万円程度報酬を支払っていましたが、これからは、逆に自治会の中に振り分け、自治会で自由に使えるような補助金のような形にするのが望ましいと判断したわけです。ですから、時間とともに、運営具合によって、理解されていくものだと思っています。</p>
	<p>防犯の日や規則を設けてはどうか。</p>	<p>高齢者の方に隣組長を強制的にさせるといったことがあったそうですが、「思いやり」は自然と地域力を高めれば出てくる問題であるわけです。そういったことを目指して、地域コミュニティづくりを行っています。</p>
	<p>防犯補助金は何箇所出しているのか。</p>	<p>「防犯の日」の設置については、良</p>

		<p>い提案だと思えます。現在、第2・4金曜日には、いっせいに街頭活動の日として、市民全体、筑紫地区全体で実施しています。</p> <p>私どもは、市民の皆様と一緒にあって、話を聴いて、よりよいまちづくりを行っていかうというのが今回の趣旨ですので、ご理解をいただきたいと思えます。</p>
意見4	<p>意見1のまほろば号のバス停増加については再三要望してきた。再度検討してほしい。以前、上の方まで通すと大原方面に行くとき鋭角に曲がれない。バスがエンジンをふかして近隣住民に騒音の迷惑になると言われた。</p>	<p>(市長)</p> <p>高齢者の外出支援を特に高齢化率の高い地域については行っていくという役割が「まほろば号」にはあると思えますので、現場の状況を見て、可能かどうか検証したいと思えます。</p>
	<p>コミュニティ無線は1台のスピーカーで200~400m聞こえるとの説明であったが、100mの地点でも聞こえていない。現状を調査し、フォローすべき。</p>	<p>(市長)</p> <p>福岡県下の中で、全市的にやったのは本市が初めてです。21年度予算の中においても、増やすような方向で通っていますので、少しずつ拡大していきたいと思えます。また、聞こえない理由の検証も行いたいと思えます。</p>
	<p>個人情報保護法の規制が厳しく、防災組織連絡網の作成さえままならない。どのように対応すればよいのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>これは時代とともに難しい問題で、個人情報保護の法律ができて、「危機管理との問題でどうするのか」「組織をつくるにも電話番号が分からないではないか」と言われます。法的な手順からいうと、本人の同意があれば、名簿等を作ったり、閲覧したりすることは可能です。ただし、手続きが面倒になった、それだけ「個人情報の重みが増している」ということです。</p>
意見5	<p>高齢化率が進む中で、市としてのビジョンは？ 一つの道筋をつけて、太宰府市を若い人が住みやすいまちにして</p>	<p>(市長)</p> <p>高齢化社会はいずれ来ますし、2050年には今の1億2千万の日本の人口が、</p>

	<p>ほしい。</p>	<p>8千万～9千万になると言われています。そして、65歳以上も4分の1になりますので、今のうちから、高齢化にならない少子化対策の手立てを講じることが重要になっています。</p> <p>本市においては、まだ過疎にはならず人口も増えています。また、太宰府天満宮や史跡地、国立博物館など「歴史とみどり豊かな文化のまち」でありますので、そういうものを核とした、そういう強みを生かした、まちづくりを行っていきます。</p> <p>【画面説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まるごと博物館」のまちづくり ・歴史と文化の環境税
<p>意見6</p>	<p>九州国立博物館や太宰府天満宮への道路に雑草が生い茂っていてみっともない。恥ずかしい。1年365日きれいに整備してほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>そのとおりだと思います。私もまちをきれいにしていきたいと思います。市民の方が道路わきに花を植えられたり、「国博通り」でボランティア組織が清掃を行っていただいたり、宗教団体の皆様により「政庁前通り」の草取りをしていただいたりしています。そういう善意によって行われています。街路樹等については、「太宰府のもてなしの心」を表していると思いますので、胆に銘じながら、荒れることがないように心掛けていきたいと思っています。</p>
<p>意見7</p>	<p>自分がどこに住むかによって、市民税と国民健康保険税の負担割合が違う。太宰府市は現在、全国でどういう負担割合のレベルにあるのか。企業誘致ではなく、観光都市を目指すならば、いったいどのくらいの人に来てもらえば良からうかという見通しと、お礼と</p>	<p>(市長)</p> <p>国民健康保険税については、どれだけの医療費がかかっているかによって、負担を割り振ります。ですから、全国で画一的な率ではありません。</p> <p>市県民税は、高いということはありません。前年度の所得によって課税を</p>

	<p>いう形で太宰府天満宮に財政負担してもらえないか。</p>	<p>しますので、所得が増えれば税額は高くなります。固定資産税についても、土地の評価によって課税しますので、応分の部分がございます。</p> <p>観光都市を目指すと言われましたが、そのとおりでございます。平成15年から17年にかけて調査をしましたが、62億円の経済効果がありました。天満宮一極集中ではなくて、全体的に「まるごと博物館」ということは、水城跡まで含めた形での観光所を発掘、磨きをかけていくということです。2極を作っていきたいという考えです。そして、相互を回遊していただくまちづくりをしていきたいと思えます。</p> <p>法律を作らず金が入るとするのが一番良い社会条件だろうと思えます。ただ、今の状況下においては、いろいろな制約があって、今、「みらい基金」という形で浄財を集める動きもあります。それまでの補完的・計画的措置としては、税金でもって徴収し、いただきながら動かしていく、という形が安定した持続安定的な形を作らなければいけないわけですから、税によります。浄財で動くような形が生まれてくるように、私も努力したいと思っています。</p>
<p>意見 8</p>	<p>子育て世代への支援が薄い。子育て世代が永住し、人口を増やすようにするべきで、子育て世代に対してどのような施策を行っているのか。学校施設が大変古い。文教地区としての魅力あるまちづくりを行ってほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>今の太宰府市は、子育て支援あるいは教育部内に軸足を置いてやっています。施設については、お金は大してかかっていませんし、一般財源も使っていません。むしろ、今使っているのは、子育て支援や教育の問題、高齢者の福</p>

		<p>祉の問題にお金を投入しています。子育て支援、(保育所)待機児童のゼロ作戦、認可保育所の定員拡充、子育て支援センター、3人目からの保育料無料化などを行っています。</p> <p>子どもの問題、教育の問題、高齢者の問題については、筑紫地区に私は遜色しないと思っています。それだけ自負しながら、背伸びしてでも、子育て世代の支援となるよう努力していきたいと思います。</p>
--	--	--